

帯広市財政の状況

帯広市の台所事情

平成19年9月

帯広市

現在、地方自治体は、社会経済情勢の変化や、国の構造改革に伴う地方財政制度の改革などにより非常に厳しい財政状況にある一方、最も身近な行政主体として、果たすべき役割はますます重要になってきています。

この冊子は、平成18年度決算を中心に本市の財政状況について、わかりやすくとりまとめたものです。

おしえて！ 市長さん！



帯広けいくん



十勝よっちゃん



すながわ市長

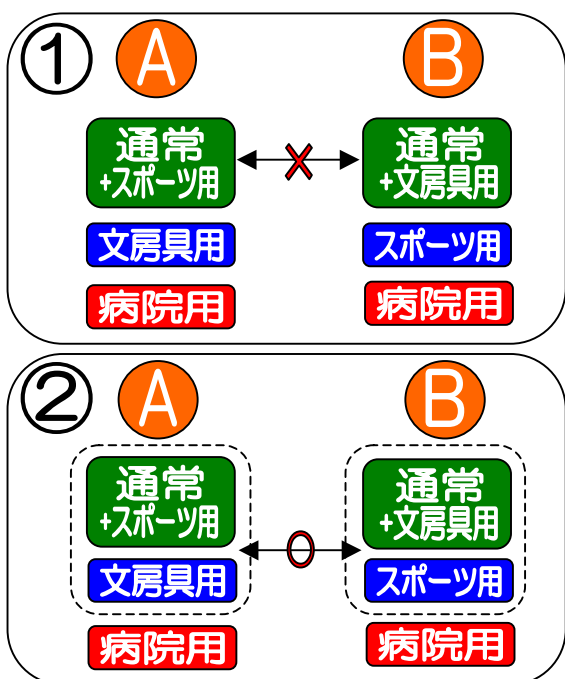
= 目 次 =

	普通会計について	-----	1
1	決算規模の状況	-----	2
2	歳入の状況	-----	3
3	歳出の状況	-----	5
4	基金の状況	-----	7
5	市債残高の状況	-----	8
6	財政指標の状況	-----	9
7	用語解説	-----	10



普通会計ってなんですか？

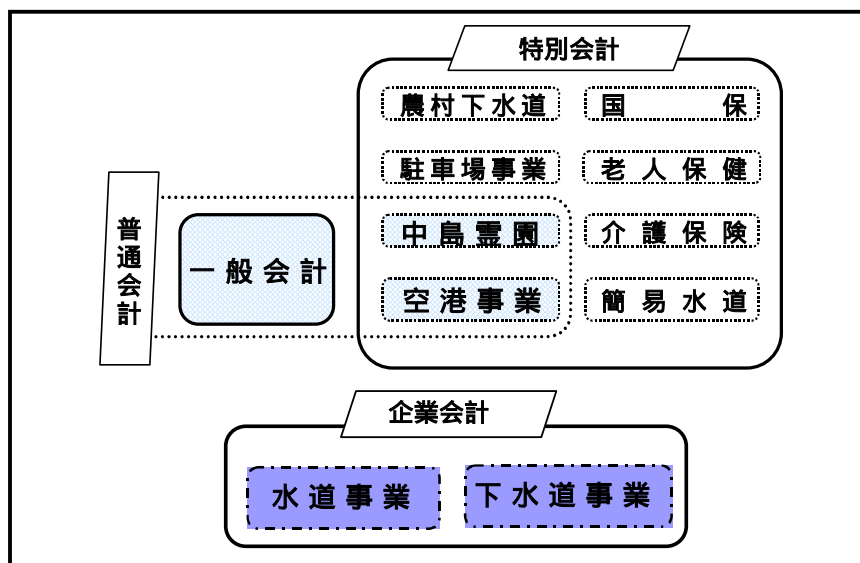
普通会計というのは全国の自治体を比較するために作る会計なんだよ。
 会計とはみんなが持っているお財布みたいなもので、通常の財布（一般会計）のほかに、特定のものにだけ使うための特別な財布（特別会計）を自治体は何個も持っているんだよ。特別な財布は法律で持つことを決められているものと自分で持つことができるものがあるから比較をするために一定の基準を定める必要があるんだよ。



たとえば、左図のようにA君とB君が異なる財布を持っているとすると、A君の通常財布にはスポーツ用のお金が、B君の通常財布には文房具用のお金が入っていることになるので通常財布同士の比較が単純にできません。しかし、左図のように、2つの財布を1つにまとめることによって同じものを買うための財布になるため比較をすることができます。これが普通会計の考え方です。

帯広市の場合は、「一般会計」「中島霊園事業会計」「空港事業会計」の3つの財布からお互いに重なるものを除いたものが「普通会計」という1つの財布になります。

帯広市の会計区分





決算ってなんですか？

決算とは1年間の間に入ってきたお金（歳入）と払ったお金（歳出）の総額のことをいうんだよ。

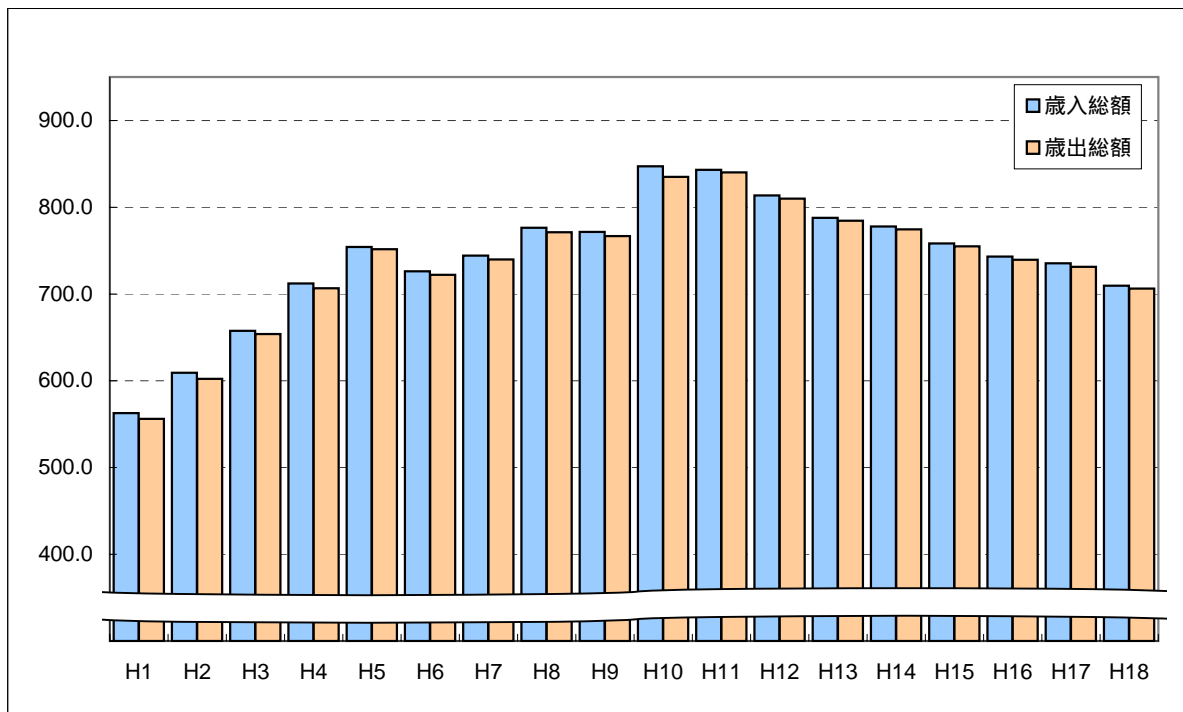


帯広市に入ってくるお金と払っているお金はいくらぐらいなんですか？

平成10～11年度には800億円以上あったけれど年々減ってきていて平成18年度は約700億円になっているんだよ。

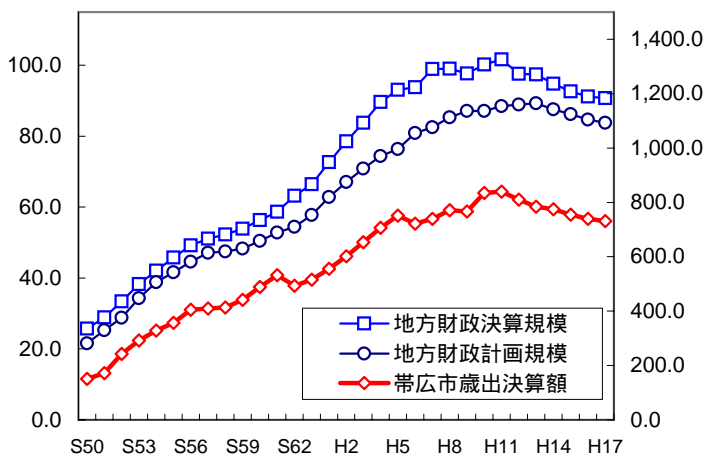


普通会計決算規模の推移（単位：億円）



帯広市普通会計決算規模と地方財政規模の推移

（帯広市：右目盛・億円、地財：左目盛・兆円）



決算規模が減少していくと減った分だけ事業などを縮小・廃止していかなければなりません。

これは、帯広市だけの現象ではなく、全国地方自治体決算額の合計では平成12年度から、地方財政の理論的な総合計である地方財政計画は14年度以降減少しています。

帯広市では市民の皆さんにとって真に必要なサービスを効果的・効率的に提供していくため行財政改革を推進しています。

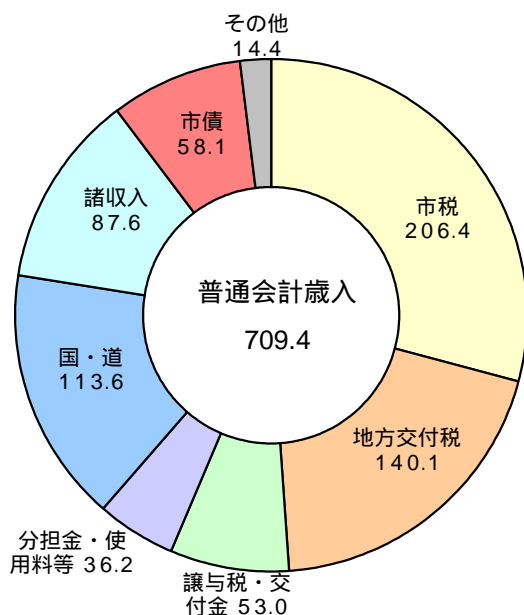


帯広市の収入にはどのようなものがあるんですか？

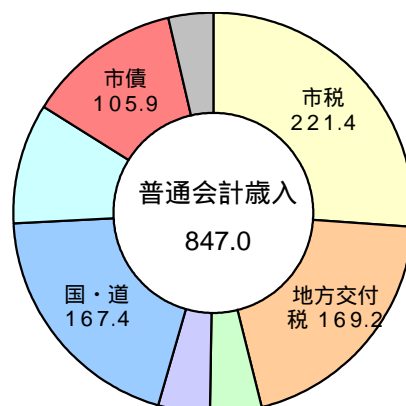
市民の皆さんからいただいている市税、国から交付される地方交付税、国や北海道から補助される支出金、施設を使用したときにかかる使用料などがあるんだよ。



平成18年度普通会計決算額<歳入> (単位: 億円)



平成10年度普通会計決算額<歳入>



平成10年度の状況と比較すると、市税が15億円、地方交付税が29億1千万円、国庫支出金が32億円、市債が47億8千万円の減となっています。



数字が大きいの、聞きなれない言葉が多くてわかりづらいなあ...

それでは、1年間の収入を年収500万円の家庭にたとえてみましょう。



収入 (入ってくるお金)		【金額】	【構成比】
給料 (市税)	145万円	29.1%	
諸手当 (地方交付税)	99万円	19.7%	
親からの仕送り (地方譲与税・国庫支出金等)	117万円	23.5%	
借金 (市債)	41万円	8.2%	
パート収入 (使用料・手数料等)	29万円	5.8%	
貯金の取崩 (繰入金)	4万円	0.8%	
その他 (諸収入等)	65万円	12.9%	
合計	500万円	100.0%	

市税や使用料等は自治体が自主的に収入しうる財源のため自主財源といえます。自主財源の多寡は財政の自主性と安定性を確保しうるかどうかの尺度となるので出来る限り財源の確保に努めています。



どういう収入が減っているんですか？

人口の減少に伴い市税が減っているほか、国の構造改革（三位一体の改革）の影響で地方交付税が大きく減っているんだよ。

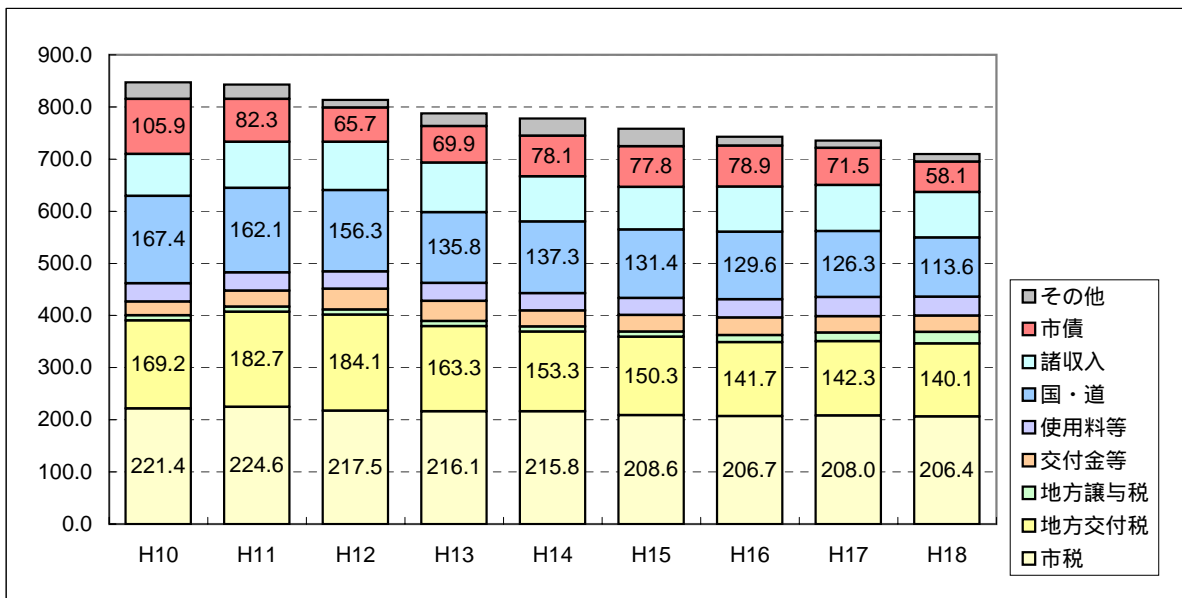


市税や交付税はこれから増えないんですか？

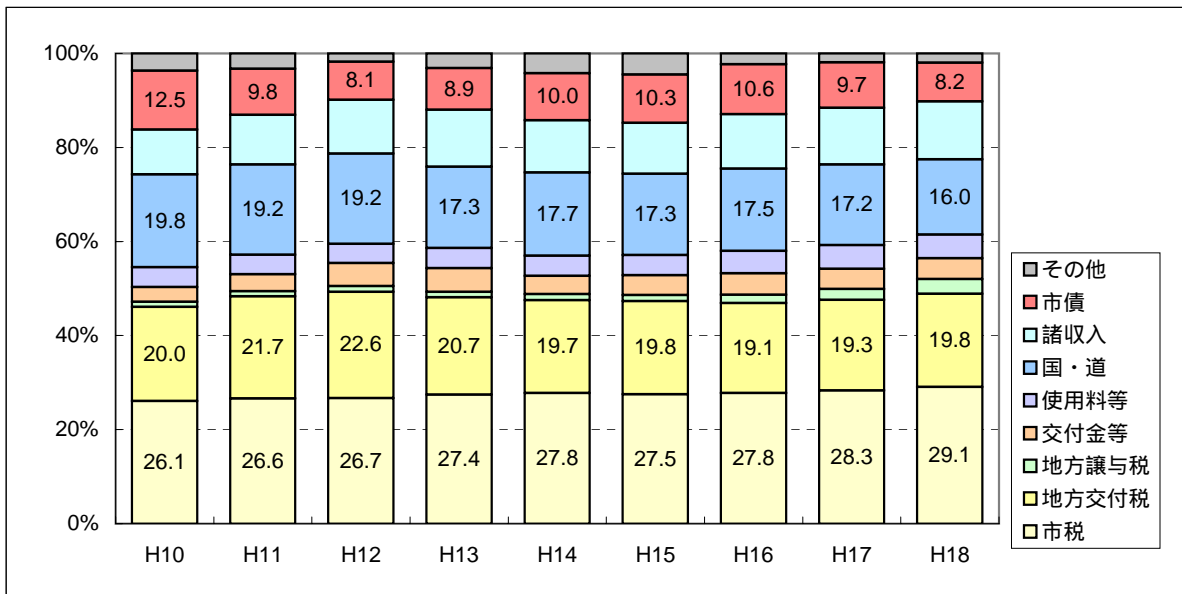
少子高齢化が進み労働者人口が増えないことや、景気の回復具合が緩やかなことなどから増収は難しいので、今は新しい自主財源の確保に取り組んでいるんだよ。



歳入の推移（単位：億円）



歳入構成比の推移



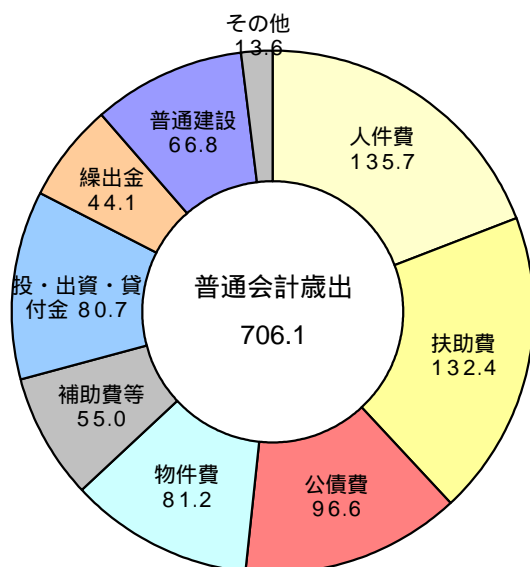


帯広市の支出にはどのようなものがあるんですか？

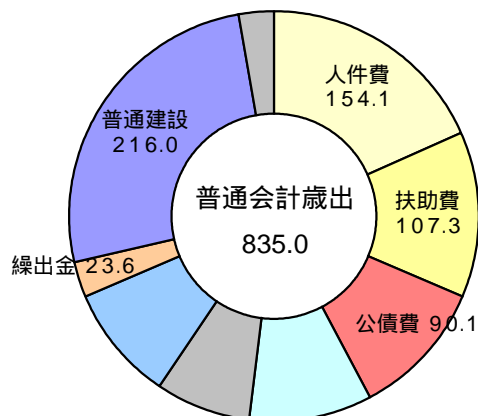
職員の給与等の人件費、社会保障費・生活保護費等の扶助費、借金の返済にあたる公債費、道路を作ったり施設を建設・整備する普通建設事業費などがあるんだよ。



平成18年度普通会計決算額<歳出> (単位: 億円)



平成10年度普通会計決算額<歳出>



平成10年度の状況と比較すると、普通建設事業費が149億2千万円、人件費が18億4千万円減少しているのに対し、扶助費が25億1千万円、繰出金が20億5千万円増加しています。

公債費は6億5千万円の増加となっています。



収入と同じようにわかりやすくしてほしいなあ。

はい。それでは支出も1年間の収入を年収500万円の家庭にたとえてみましょう。



支出 (出て行くお金)		【金額】	【構成比】
食費 (人件費)	96万円	19.2%	
医療費・保険料など (扶助費)	94万円	18.8%	
ローンの返済 (公債費)	68万円	13.6%	
水道代など (物件費・維持補修費・補助費等)	103万円	20.6%	
子どもへの仕送り (繰出金)	31万円	6.2%	
家の改築など (普通建設事業費)	48万円	9.6%	
その他 (貸付金・積立金等)	60万円	12.0%	
合計	500万円	100.0%	

人件費、扶助費、公債費は、義務的経費といって支出が義務づけられる経費です。
帯広市では、定員適正化計画や市債借入のガイドラインを定めながら、人件費や公債費の抑制を図っています。



どういう支出が減っているんですか？

人件費は給与や職員数を減らしていることで、普通建設事業費は新たな公共投資の縮小などにより大きく減っているんだよ。ただし扶助費はこれからも増加傾向にあるんだよ。

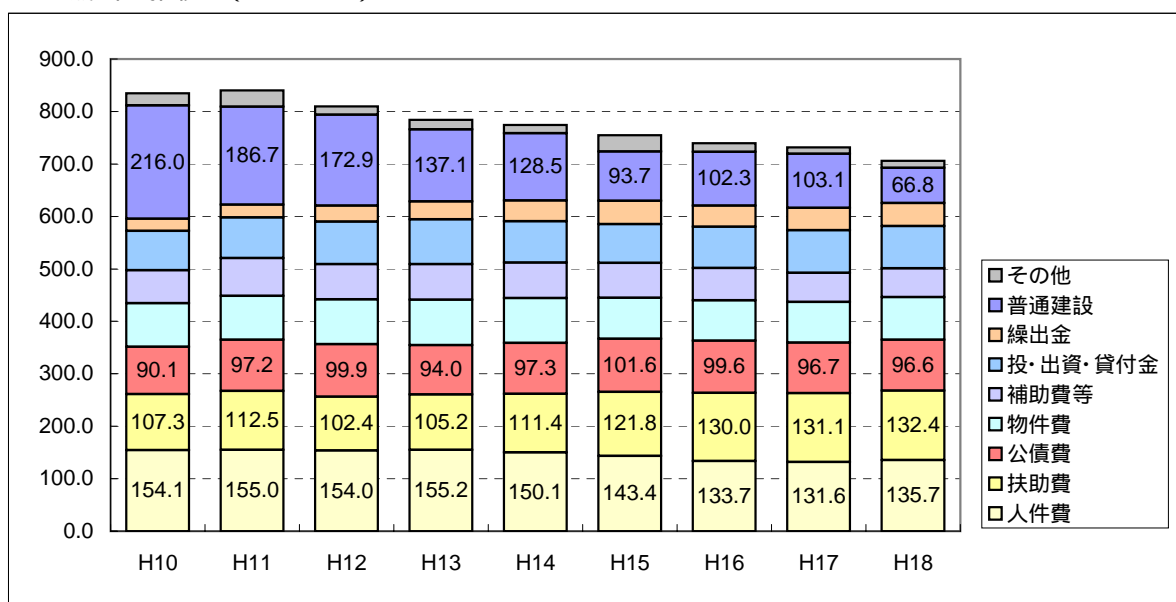


18年度と17年度を比べると人件費が増えているのは？

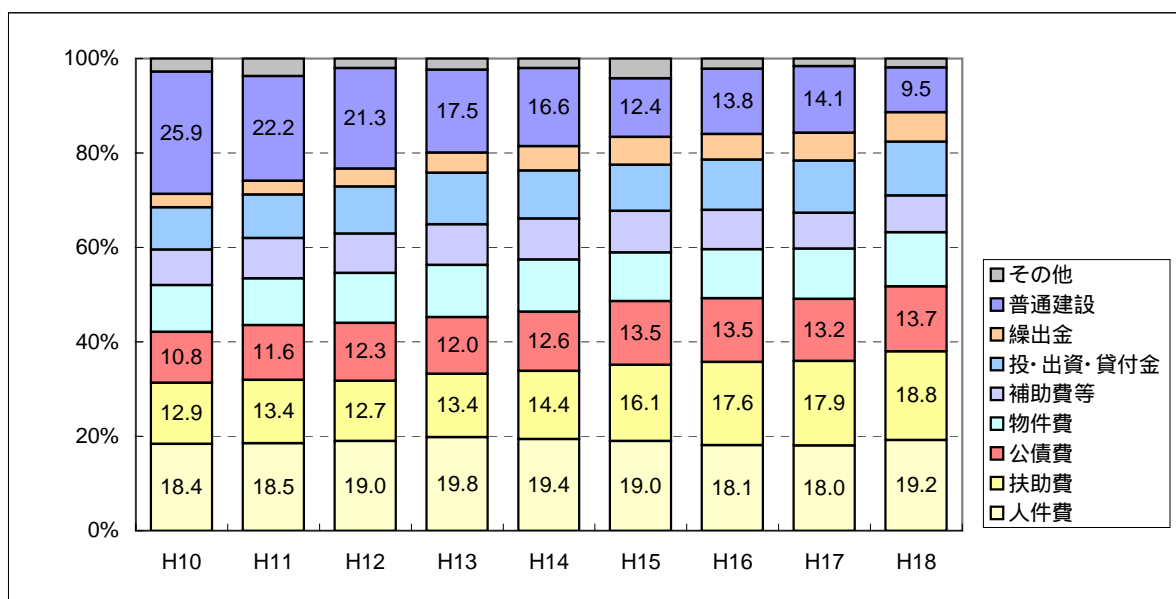
団塊の世代と言われている人達が退職するため、退職金が増えているんだよ。今後10年間ほど臨時的に増えてしまうんだよ。



歳出の推移 (単位：億円)



歳出構成比の推移





帯広市の貯金はどれくらいあるんですか？

帯広市には基金という貯金が平成18年度末で58億8千万円あるんだよ。

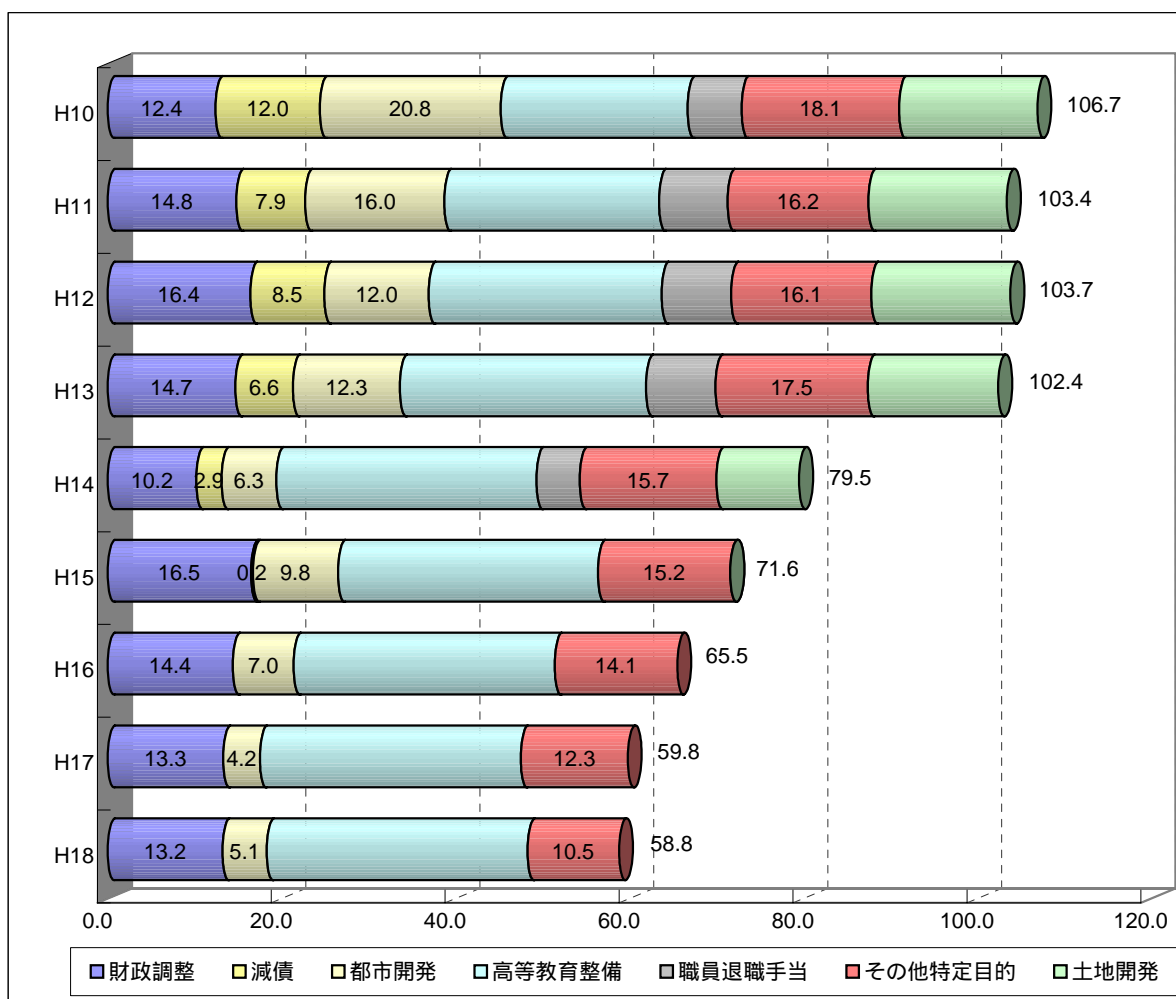


私1人の分だとどれくらいになるんですか？

市民1人当たりになると約3万5千円になるよ。



基金残高の推移 (単位: 億円)



平成10年度と比べると半分ぐらいしかないんですね？

そうなんです。市税や交付税の収入が減っているなか、市民の皆さんからの様々な要望に応えるため、貯金を取り崩してきているからだよ。





帯広市の借金はどれくらいあるんですか？

帯広市には市債という借金が平成18年度末で992億1千万円あるんだよ。



私1人の分だとどれくらいになるんですか？

市民1人当たりになると約58万3千円になるよ。

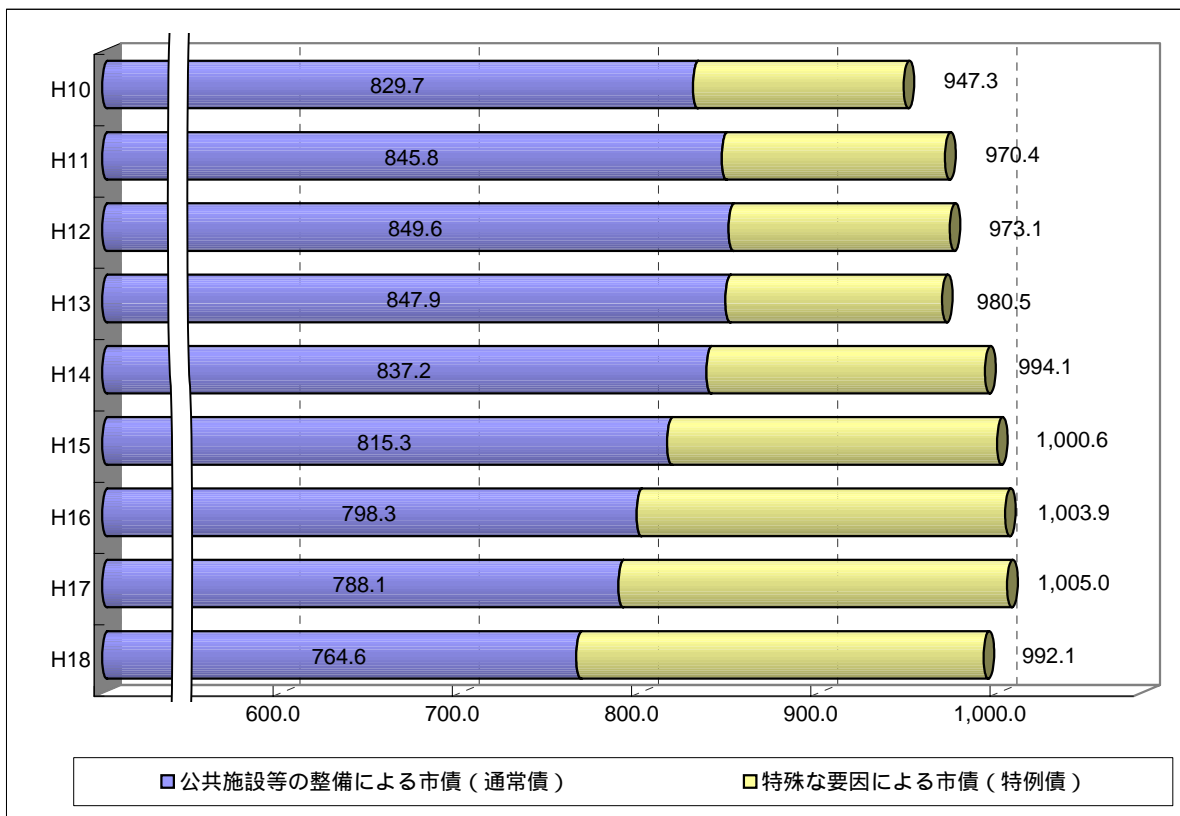


どうして借金をするんですか？

市債は長期にわたって返済できる借入金で、通常は主に公共施設や道路等を整備するためにお金を借りますが、こうした施設等は今の市民だけでなく次の世代の市民も利用することができるため、長期の返済が許されているんだよ。



市債残高の推移（単位：億円）



グラフで見ると年々借金が増えているんですね。

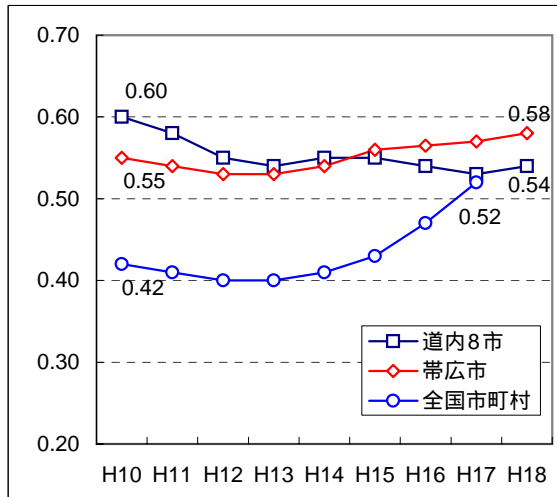
借金総額では増えていますが、臨時財政対策債等の特例債を除いた通常債では、発行額の上限を45億円までと設定しているため、平成12年度をピークに減少しているんだよ。





帯広市の財政状況を他の市町村と比べることができるの？

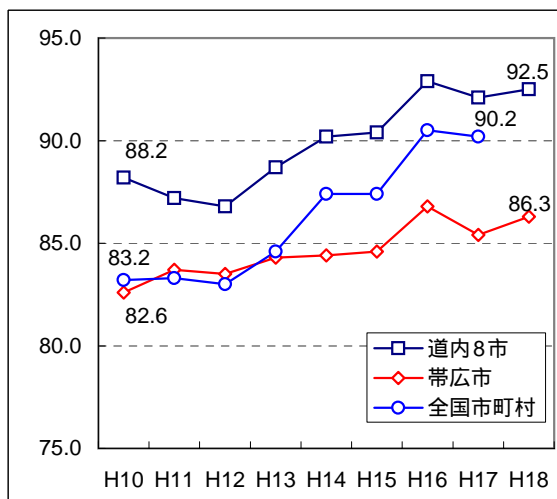
財政状況を比べるために財政指標というものがあるんだよ。下のグラフ等は代表的な3つの指標を比較したものだよ。



財政力指数

必要な収入をどのくらい自前で調達できるかを見るもので、数値が大きいほど財政力が強いことを示します。

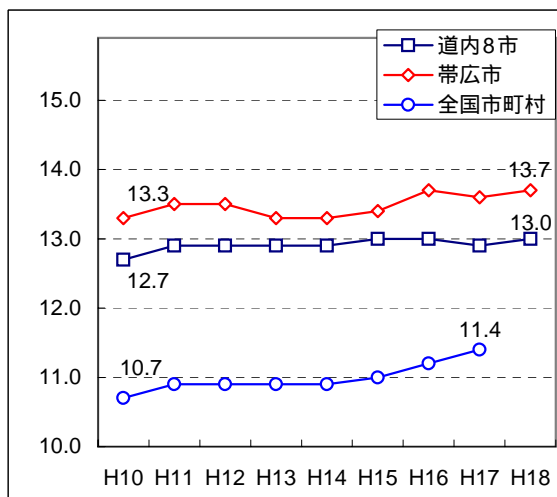
帯広市は平成14年度以降上昇しており、15年度には道内主要8市の平均を上回りました。なお、道内8市の中では苫小牧市が0.8程度と高い数値で推移しており、これを除く7市平均は0.50（18年度）で、帯広市は室蘭市に次いで3番目となります。



経常収支比率

毎年継続的に入ってくる収入（経常的収入）から毎年継続的に支払われる支出（経常的支出）にどのくらい充てられたかを見るもので、数値が小さいほど財政の弾力性が高いことを示します。

帯広市は上昇傾向にあり、17年度に一時低下しましたが18年度に0.9ポイント上昇しました。しかし、道内8市の中では最も数値が低くなっています。



起債制限比率

標準的な収入に対する借入金返済額の割合を見るもので、数値が小さいほど割合が低いことを示します。

帯広市は過去に行った積極的なまちづくりへの投資のため道内平均よりも高くなっています。

< 道内8市 >

函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、北見市、苫小牧市、江別市

地方財政計画 内閣が作成する、翌年度の全国の地方公共団体全体の収支見込のこと。行財政制度の改正に伴う経費の増減等の積算及び経済の動向なども見込まれているため、個々の地方公共団体の行財政運営の指針となるもので、国会に提出するとともに、一般に公表するもの。

地方交付税 国の税収入となっている所得税・法人税・消費税・酒税・たばこ税の一定割合を財源として、国が地方公共団体に配分する資金のこと。
財源の不足分に応じて地方自治体に交付することで、地方自治体間にある財源の不均衡を調整し、国民が受ける基本的な行政サービスが住む場所によって差のないようにする狙いがある。

地方譲与税 国が徴収した国税を、一定の基準によって市に配分されるもの。

三位一体の改革 補助金と地方交付税による交付金の削減と見直しによって、国庫負担を減らす代わりに、国税として徴収してきた税財源を地方に移すことで、（１）国から地方への補助金の削減、（２）国税から地方税への税源移譲、（３）地方交付税制度の見直し、の３つの改革を指す。

定員適正化計画 定員管理を計画的に行うために、計画期間を定め、数値目標を掲げた計画のこと。目標年度の平成 21 年 4 月 1 日までに、定年退職者数の一定数は補充しないなどにより職員 163 名を減員することなどを明らかにしているもの。

通常債と特例債 通常債とは、学校建設、道路整備、公園整備等に係る市が行う公共事業に対して発行した起債、特例債とは、通常債以外の起債で以下の４つのことをいう。

臨時財政対策債

地方交付税の交付原資の不足に伴い、地方交付税の代わりに、自治体が国に代わって発行する特例的な起債。償還にあたっては、地方交付税で措置される。

減税補てん債

税制改正に伴う国の個人住民税等の恒久減税による減少額を補てんされるために発行される特別な地方債。償還にあたっては、地方交付税で措置される。

国費減少

国庫補助負担率の引き下げに伴い、国庫補助負担金の減少額に相当する額を地方債として発行が許可されたもの。

国営土地改良

国営土地改良事業完了後、高利で借入した市債を、自治体の財政負担軽減を図るため低利の市債に借り換えすることが認められたもの。

編 集 帯広市政策推進部財政課

〒 080-8670

帯広市西 5 条南 7 丁目 1 番地

Tel 0155 - 24 - 4111 (内線 1141 ~ 1148)
 0155 - 65 - 4106 (直通)

Fax 0155 - 23 - 0151

Mail finance@city.obihiro.hokkaido.jp

URL <http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/>

この冊子は帯広市のホームページでもご覧いただけます。